



新青年部長
吉山大嗣さん(南関)
大工・32才



発行所
福岡県建設労働組合
大牟田支部
〒836-0044
大牟田市古町3-2
TEL(53)1533 FAX(54)6830
発行・編集者 矢野 誠

秋の拡大月間 橋分会3名拡大で目標達成 仲間を増やして仕事おこしの行動を

大牟田市へ交渉



小規模工事登録制度の改善を要求する橋分会の藤井分会長(右から1人目)

長引く深刻な不況により、地元建設業者の仕事が激減し、賃金単価の大幅な引き下げで地域の建設産業は大変苦しんでいます。そのような中、元請け業者と下請け業者、またその下請け業者の契約の現実が、「口約束」「契約書ができる前の「工事着工」「指値発注」などが行われています。

今こそ、公共工事での「建設業界のルール」をつくる必要があります。10月14日、大牟田市へ住宅リフォーム助成制度と公契約条例の制定を求める要請行動を実施しました。

福建労より7名、日本共産党市議団より3名、大牟田社保協より1名、市役所より6名の参加でした。



要請書を渡す石本支部長

住宅リフォーム助成制度の早期制定の要望では、前年度に引き続き、すでに実施している近隣自治体へ聞き取り調査を続け、24年度予算実施についての可否について考えている。昨年の返答ではメリット等の検討段階でストップしている状態でしたので、さらに前進しています。**公契約条例の制定**については、条例

現場訪問で拡大と署名の訴え

宣伝行動を行いました。

【斎藤敏博組織財政部長・延命分会】
10月11日、福建労宣伝カーに斎藤組織対策部長(延命分会)、鳥巢副支部長(橋分会)、

木原分会長(歴木B分会)の3人で乗り込み、「震災復興を理由とした増税反対」のテープを流しながら大牟田市内とみやま市内へ拡大



現場で組合を宣伝し、署名の協力をおねがひする鳥巢副支部長(橋分会)

3件と組合員訪問を実施。現場訪問では、組合員さんや業者の方もいっしょに県庁請願署名を書いてもらい、組合加入も呼びかけました。組合員訪問では、分会長宅を訪問し、分会の拡大出陣式の様子を聞いて、拡大行動への参加を呼びかけました。ここ数年で現場の数も激減し、厳しくなってきましたが、宣伝行動などでもっと地元へ福建労をアピールして、組織を大きくし、私たちの生活を守る運動を進めていくことが大切です。

が制定された野田市・川崎市からの情報を仕入れながら研究を続けている。大牟田市での導入が可能か引き続き検討中との回答でした。今後も制度の早期実現にむけて運動を進めていく必要があります。**小規模工事登録制度の発注方法**でも、合見積りにより価格が低下しているのが、適正な価格での発注と多くの業者に仕事が回るような改善を要望してきました。

むっしょろう

▼「こんな苦しみ絶対にみんなにさせたくない」「なんの責任もないのにこんな目に合わなくてはならないのか」このように言っているアスベスト疾患で労災認定を受けた仲間と亡くなった仲間と家族が、有害であると認知しながら、企業の利益を優先させるため放置させ続けてきた国とアセベスト製造企業に対して勇気をもって訴えた事に本当に感謝しています。

▼20年〜30年たってから突然「時限爆弾」のごとく発病する「アスベスト疾患」、全ての建材にアスベストが含まれていまして、これから多くの仲間たちがその疾患に脅かされることは間違いありません。「あやまれ、つぐなえ、なくせ、アスベスト」大牟田支部でも4人の仲間が原告としてたちあがりまし。これから長い裁判になります。建設従事者が心一つに勝利するまで頑張っていく先頭にたつていく決意です。